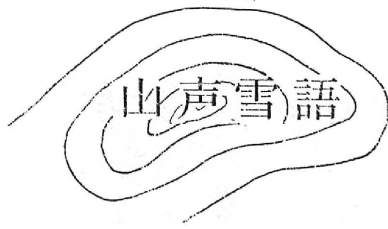


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2493回★★★ 羅臼岳・斜里岳・ 雌阿寒岳	9月1日(金) ～4日(月)	吉田 武	1日(金) 伊丹空港(午前)― 女満別空港＝岩尾別温泉 2日(土) 岩尾別温泉＝登山 口(279m)…弥三吉永…銀冷 水…羅臼岳(1,660m)…羅臼平… 岩尾別温泉 15km 約8時間 3日(日) 斜里＝清岳荘(674 m)…上二股…馬の背…斜里 岳(1,547m)…能見峠…清岳荘＝ 雌阿寒温泉 8km 約7時間 4日(月) 雌阿寒温泉＝登山 口(711m)…雌阿寒岳(1,499m)… オンネトー 7km 約5時間 女満別空港―伊丹空港
備 考 装備 日帰り装備, 着替え, 防寒具 費用 108,000円			
第2494回★ 室生, 国見山	9月9日(土) 7:00 竹田駅西口	井戸 澄夫	大野寺(磨崖仏)―室生寺…国 見山
備 考 参加希望者は担当まで連絡ください。			
第2495回★ 箕作山と太郎坊宮	9月24日(日)	清水 康裕	
備 考 参加希望者は担当まで連絡ください。			
今月の集会		企画運営委員会	
日 時 9月11日(月) 18:30～ 場 所 厚生会館 4F 大教室		日 時 9月21日(木) 18:30～ 場 所 厚生会館 4F 六角会議室	



今年の夏山は百名山の雨飾山に登ったが、不覚にも左太股の痙攣を起こしてしまった。頂上直下の最後の急登で、突然、筋肉がつってしまい歩行不能になった。長老部員が登行中によく筋肉がつるのを見てきたが、よもや自分がそうした経験をすとは思っていなかった。いよいよ老化現象が本格化してきたのだと思った。しばし休息し、同行者の持っていた湿布薬を貼って、テーピングすると、かなり歩きやすくなった。山仲間の暖かい励ましにも助けられて、なんとか独力で山頂まで登った後、無事下山できた。帰って調べてみると、筋肉のつる原因として長時間の筋肉の酷使、トレーニング不足、水分不足、マグネシウム・ビタミンの不足、などが考えられる。しかし今までは同じような条件で登山して何事もなかったわけで、結局は自分の体力の低下（老化）が主たる要因であろう。これからは日頃のトレーニングだけでなく、テーピングや栄養剤などの準備も必須となろう。でないとい北アルプスに行けなくなってしまう。感心したのは、今回の同行者の一人で、登山前から太股にテーピングして自衛措置を講じていたことである。小生も見習わねばならない。

8月15日は61年前に太平洋戦争に敗北した日である。小泉首相は中国や韓国の非難する中、靖国神社を参拝した。世論調査では首相の靖国参拝には、国民の50%以上が賛成している。その傾向は若い人ほど強い。NHKの討論番組で、戦争世代の多くの方々が、悲惨な戦争体験と無謀な戦争指導者について語っていたが、ある若者は「原爆とか落とされてひどい目にあっただのに、それを行ったアメリカの指導者に対する怒りは感じないのか。」と反論していた。これからはこのような若者が増えていくのかいと複雑な気分になった。

8月16日には久しぶりに女房と大文字の送り火を見た。今春から勤務場所が変わって、通勤時に京都御苑の森を通っているが、蛤御門を入ったあたりから見る大文字山がなかなかよい感じなのである。送り火も仙洞御所の上方に、「大」の字がくっきりと浮かび上がる。街灯やビルの灯りに邪魔されないのできれいに見える。鴨川の土手や北大路橋ほど混雑していないが、結構、見物の人が多い。定期観光バスの夜のコースも来ていた。知る人ぞ知るところか。

(H. 18. 8. 20. 記 S.I.)

【第2488回例会】

「飯豊連峰縦走」を変更して「小津権現山」

OB 吉田 武

雨、雨、雨 インターネットで検索すると、新潟県、山形県、福島県共に大雨になっている、山形の友達に電話したら「来るなら来てもいい、登山口まで送ってあげるから、雨具をつけて4日間歩いたら」と、笑いながら返事が返ってくる、まだ4・5日ほど雨が降り続くようで暫く考えて中止する事にした。

以前に「大朝日岳」の縦走したときも単独行で雨が降って「七つ釜の滝」でずぶ濡れになって腰を痛めて5時間かかって以東岳についた事があるので今回は中止した。

近畿地方と中部地方が比較的天気が良いので田舎の友達を誘って美濃の「小津権現山」に行くことにした。

関ヶ原 IC で降りて R21 を走り、県道から R303 を東津汲の交差点から右折して小津集落の白山神社をすぎて橋を渡って林道終点まで入ったら 20 台位置ける駐車場があった。

標高約 450m, 樹林の中は凄く蒸し暑いまったく風が通らず一汗も二汗もかいて高屋山の登りにかかった, 500m 位の登りで少し他のメンバーがばて気味, 少しペースを落として行くと雑木林に囲まれたところに 3 等三角点高屋山があった, 小休止。

高屋山の登りで久しぶりに「山ヒル」に出迎えてもらったここからは少し下って尾根を登ると大きなピークが見えたので「権現山か」と聞くのでまだ見えないと言ったらますますペースが落ちた。

ピークをトラバース気味に登ると権現山が顔を出した, シクナゲの斜面をくだって笹原を掻き分けて登ると 2 等三角点 1,157m についた。

展望は良いはずだが今の天気では奥美濃の山が少しぼやけて見える程度であった。

少し休憩をして往路を下った。帰りには以前に入った池田温泉に入った, この湯は凄くすべすべして気持ち良かった。

【参加者】他 2 名

【第 2 4 8 9 回例会】

高野山世界遺産と高野三山

井戸 澄夫

高野山をまとめて味わおうということで, 大門, 根本大塔, 金剛峯寺, 奥の院といった世界遺産の建造物群を見学したあと, 高野三山を巡ることとした。7 月も後半になり, 梅雨が長引いていたが, 高野山に登った日のみ好天に恵まれた。さすが晴れ男が揃い踏みすると強いものである。金剛峯寺では内部を拝観し, 僧侶の法話を聞き, 他者の命を食って生きている人間の業の深さに思いを馳せた。色即是空。空即是色。奥の院に向かう参道沿いには大きな墓所が並んでいる。それぞれの時代の力の大きさにだいたい比例した墓石の大きさである。現代の巨大企業の墓所も奇抜なデザインがあったりしておもしろい。奥の院は弘法大師空海が葬られており, 空海を崇め敬う人々の心の拠り所である。

高野三山は奥の院の背後を取り囲む山々で, 摩尼山 (1,004m), 楊柳山 (1,008.5m), 転軸山 (915m) をいう。高野山は標高 800~900m の山上台地になっているが, 高野三山はその東端を縁どる尾根であり, 中でも楊柳山はこの山域の最高点で 3 等三角点が設置されている。高野山は平安時代に空海が開山して以来, 明治時代の初期まで女人禁制の地であった。それでも信心深い女性達は, この周縁部までは立ち入ることが許されたので, 高野三山を巡って礼拝したのである。我々は三山巡りの案内に従い, 奥の院から摩尼山, 楊柳山, 転軸山の順に反時計周りに一周し奥の院に戻った。針葉樹林の木陰が多い涼しい山道であった。

帰路は, R-371 沿いの溪谷にある「やどり温泉」で汗を流し, アマゴとアユの塩焼きを賞味した。このやどり温泉は橋本市営の青少年旅行村となっていて週末だけの営業である。

【コースタイム】 7 月 22 日 (土)

7:00 竹田駅西口 $\xrightarrow{(R-24)}$ 橋本 - 10:40 大門, 根本大塔, 金剛峯寺 - 12:20 奥の院 (昼食) 13:30... 14:00 摩尼山... 14:25 黒河峠... 14:50 楊柳山... 15:50 転軸山... 16:20 奥の院 - 17:00 やどり温泉 (入浴, 夕食) - 20:00 竹田駅西口

【参加者】森本清一, 渡辺智生, 三橋 勉, 大倉寛治郎, 竹田 勉, 堀田 剛, 井戸澄夫 (7 名)

【第2490回例会】

日本百名山 雨飾山 (△Ⅱ 1,963m)

山元 誠一

昨年の夏は、好天の日光白根山と男体山で「山と温泉と星空の下でキャンプ」を楽しみましたが、今年、真っ青な空の下、上越の雨飾山で「山と露天風呂と高嶺の花」を十二分に堪能してきました。

7月の豪雨により、雨飾山登山口への道は、2箇所が通行止めとなっており、妙高高原IC～笹ヶ峰～(林道)～登山口しか通行できない状況でした。

しかし、その道は、笹ヶ峰(火打山と妙高山登山口)までは舗装されていましたが、笹ヶ峰から先、登山口までの林道は、小石とジャリの悪路の連続で「私の新車」はカワイソウに「ホコリと泥まみれ」になってしまいました。

〔山を楽しむ〕

雨飾山登山口には、トイレ・水場を備えた休憩舎と駐車場があり、多くの人で賑わっているかと思っておりましたが、通行止めの影響でか、車は4台しかありませんでした。駐車場までの途中、車道を歩いている人に聞くと、小谷温泉から1時間余りかけて歩いてきたとのこと、車で登山口まで来られた我々はラッキーでした。

登山口から頂上までの標高差は約1,000m、距離は4km余り、愛宕山より少し厳しい程度かと思っておりましたが、結構登りはきついものがあり、帰ってから数日間太股の痛みが残りました。

しかし、途中の荒菅沢には、大きな雪渓が残っており、上方の峰峰と青空そして雪渓が素晴らしいコントラストを見せてくれ、また雪渓を吹き抜ける風も心地よく、夏山の楽しさを倍加させてくれました。

頂上では、中高年の登山者のグループと出会いましたが、どうも、登山口と小谷温泉との間を宿泊客の利便を図るため、小谷温泉の旅館がマイクロバスで送迎しているようでした。(途中、通行止め箇所は徒歩だと思います)

〔頂上からの景色を楽しむ〕

頂上は真っ青な空の下、360度の眺望。東方の眼前には、「火打山と焼山」が、少し遠方には、「高妻山、戸隠連峰」が見えましたが、妙高山は、山の陰で見えませんでした。西南の方角には、多くの雪を残した「白馬連峰」や「鹿島槍」、遠くには「槍の穂先」もかいま見ることができました。

〔高嶺の花を楽しむ〕

頂上下の笹原の登山道脇や沢の斜面等は「百花繚乱」の世界が広がり、色とりどりの花が短い夏を謳歌していました。

多く見られたのはシモツケソウ(ピンク、ホワイトなど)、アザミ、

トリカブトと間違った青紫の花タテヤマウツボグサ

大輪のニッコウキスゲ、

ピンクの花がかわいいハクサンフウロ

ピンクのタカネナデシコ

サンカヨウやウメバチソウなどの白い花々、ミヤマウスユキソウもありました。

山頂近くの岩場には紫の花ハクサンシャジンが風に吹かれて揺れていました。

〔温泉を楽しむ〕

山を下りてからの楽しみは、もちろん温泉!

駐車場から車で数分の所に露天風呂(入浴料は心付け)がありました。

お湯は熱めでしたが、木々に囲まれた露天風呂で、山の汗を流し、疲れを癒すことができました。(男女別ですのご安心を?)

[キャンプを楽しむ]

キャンプ場は、野尻湖を眼下に見下ろせる「高原キャンプ」を利用することとしました。

利用料金は、1人1,000円、車1台500円でしたが、トイレも整備されており、シャワールームもある快適なキャンプ場で、多くの人々が利用されていました。

メインディッシュは、豪州肉、あっという間に平らげました。

上空は星空が広がっていましたが、残念ながら、昨年程多くの星を見ることはできませんでした。

[翌日には]

6日には時間があつたので、当初「黄金の湯」(露天風呂)に入湯することを予定していましたが、歌で有名な「米山(993m)」さんに登ろうと意見がありましたので、車をそちらに走らせました。登山口から林道に入りかけましたが、またもや悪路で、車の底が擦りそうだったので、少し入ったところから引き返すこととしました。

途中、親不知の「柵海新道」の登山口に立ち寄ってから早めに帰京しました。

【参加者】 渡辺智生、森本清一、井戸澄夫、室谷和彦、山元誠一

【コースタイム】

8 / 4 名神東(20:30) - 名神高速 - 北陸高速 -

5 妙高高原(ハイウェイオアシス)着(1:00) [仮眠]

妙高高原(ハイウェイオアシス)発(6:00) - 妙高高原IC - (林道) - 雨飾山登山口

発(7:30) - 雨飾山頂(昼食11:30-12:00) - 雨飾山登山口着(14:30)

雨飾山荘露天風呂 - 野尻湖高原キャンプ場着(18:00) [テント泊]

6 高原キャンプ場発(7:30) - 米山登山口(8:30) - 北陸自動車道 - 名神東(15:30)

【個人山行】

大雪溪から「白馬岳」1等三角点 2,932.6m

OB 吉田 武

7月29日(土) ~ 31日(月)

29日

昭和42年7月26日に厚生会の夏山で始めて白馬岳に登り、2度目は昭和61年3月22日に白馬大池でテントを張り、アイゼンピッケルで登ってから、久しく登らなかつた山である。

今回、指導委員会の「初級登山教室」の生徒を引率して2泊3日の白馬岳登山に参加した。

今年の梅雨はいつ明けるかわからないような感じであったが、29日の9時に39名が京都を出発した。長野道に入ってから雨が少し降ったが、難なく白馬乗鞍の民宿に入った、明日が早起きのために早々に布団に潜った。

30日

朝5時に登山口の猿倉を出発した、少し歩くと林道に出る、鏈温泉の分岐を左に見送り暫く登ると長走沢(ながしりさわ)を渡る。

小蓮華岳の稜線が見えて林道を少し登ると登山道になった、そして2軒の山小屋が建つ白馬尻に着いた。

今年は雪が多くて白馬尻の小屋を過ぎて直ぐにアイゼンを付けた、最初はなだらかな雪溪歩行なので、アイゼンを付けるのを迷ったが初級者ばかりなので練習のために付けてもらった。

赤いベニガラ rute をゆっくりと登った。大雪溪の上部になると傾斜も増してくる、やがて葱平から小雪溪をトラバースしてジグザグの草つきを登ったら稜線にある村宮頂上宿舎に着いた。

黒部の広い谷を隔てて立山、剣岳、そして毛勝三山が目の前に飛び込んで来た、今回は白馬山荘で泊まるため稜線からまだ少し登る事になる。

11時30分に白馬山荘に着いた、僕のパーティーは足のつった人がいたために最後尾で山荘に入った。
31日

4時51分のご来光を山頂で迎えるために4時15分に出発した、久しぶりにヘッドランプを使った。妙高山からのご来光で頸城山域や高妻山、戸隠が赤く染まった、太陽が顔を出したので早々に小蓮華岳に向かって下る。

鉢ヶ岳や雪倉岳を見ながらの快適な稜線歩きで昨日とはまったく違った楽しい山である、三国境を過ぎて少し登ったら小蓮華岳であった、三角点は基礎がえぐられているので立ち入り禁止になっていた。

白馬大池にも沢山の残雪があって写真の良いアングルになった。大池からは歩きにくいコースで高年のおばさんたちは苦勞して登っている、白馬乗鞍岳も残雪が多く少し斜面が急なところにはフィックスロープがしてあって大分助かった。

成城大ヒュッテ、早大ヒュッテ、と地図の上では通過しているが以前ツアースキーで白馬乗鞍岳に登ったときはここで2m程、雪が掘ってあって下を流れる谷の水を美味しく飲んだ事があった。

中高年パーティーなので梅池スキー場のゴンドラは短いゴンドラはパスして長い方に乗って帰った。

部 員 動 静

目的地	月日	参加者	記事
北アルプス 槍穂高縦走	8月3日 (木)～ 6日(日) 晴	大槻 雅弘	1970年8月23日に北鎌尾根から槍ヶ岳以来4回目の登頂と、奥穂から前穂を経て岳沢と2泊の山小屋泊まりで、久しぶり汗をかいた山行であった。 4日：槍ヶ岳山荘 5日：穂高岳山荘 6日：山岳会小屋

例 会 報 告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2488	小津権現山	7月15日	曇り	吉田 武	他2名	飯豊連峰縦走から変更しました。 (別稿詳報)

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2489	世界遺産と高野三山	7月22日	晴	井戸 澄夫	森本 清一 渡辺 智生 三橋 勉 大倉寛治郎 竹田 勉 堀田 剛	(別稿詳報)
2490	雨飾山	8月4日 ～6日	晴	山元 誠一	森本 清一 渡辺 智生 井戸 澄夫 室谷 和彦	(別稿詳報)
2491	上州武尊山 武尊沢	8月11日 ～13日	晴	吉田 武	大槻 雅弘 岡本 義弘 松浦 健一	(次号報告)

雑 報

△△△ 8月の集会

日 時 8月8日(火) 18:30～
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸, 大槻, 岡田, 渡辺, 和田, 三橋, 岡本勇, 堀田
内 容 例会予告, 例会報告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 7月の企画運営委員会

日 時 7月21日(木) 18:30～
場 所 厚生会館 4F 六角会議室
出席者 井戸, 大倉, 三橋, 方山, 清水, 堀田
内 容 例会予告, 岳連関係報告, ほか

△△△ 他山岳部の会報(受贈分)

8月号 木雞, 北山, 比良山岳, 京都山岳, 青嶺, わっぱ

△△△ 山乃仲間(伊藤潤治氏追悼特集)を受贈しました。

△△△ 平成18年度会費領収者について

7月22日～8月18日までに次の方々から領収しましたので報告します。
竹田勉, 山口雅直, 山岡昭弘, 松田誠二, 江草哲史, 西尾直樹, 石川かず榮, 石田和男,
中村維源, 山下周道, 岡本勇, 山下幸宏, 竹村芳廣, 室谷和彦, 国友修